

具体的な取組

- ① ポスター、ステッカー等を活用した広報・啓発の実施
- ② 他分野における各種取組等との連動
- ③ 事業者による社会貢献活動等との連動



参加企業による運動の実践



参加団体主催行事での啓発活動

「安全・安心どさんご運動」は、人や地域の絆を強め、地域コミュニティ機能を向上させていくことにより、犯罪のない安全で安心な地域づくりを目指す道民運動です。運動の推進により、地域から「無関心」や「無責任」をなくし、地域で何が起きているのかをしっかりと見極め、危険に遭っている人を見つけたときには関係機関に通報して助け合うなど、犯罪に強い地域をつくりましょう。

〔 気 づ き ポ イ ン ト (例) 〕

配偶者暴力

- 身体に不自然な傷が多い
- 口論が絶えない
- 友達や両親とのつきあいをしなくなる
- 生活費を渡してもらえず困窮している
- 携帯電話をチェックされている
- パートナーの機嫌が悪くならないようにいつも神経を張り詰めて生活している など

児童虐待

- 子供の泣き声や助けを求める声、または保護者の怒鳴り声が頻繁に聞こえる
- 保護者を怖がったり、顔色をうかがう
- 身体に不自然な傷が多い
- 身体や着衣が汚れている
- 異常な食欲がある ● 学校等の欠席が多い
- 夜遅くまで遊び、家に帰りがらない など

いじめ

- 急に落ち着きがなくなる
- 学校のことを話さなくなる
- 擦り傷、あざをつくって帰る
- いじめの被害等を話題にする
- 閉じこもりがちになる
- かたくなな感じになる
- 友人を避けるようにする
- 明るさが次第になくなる
- 欠点を強く気にする など

ストーカー

- つきまとい、待ち伏せ等がうかがわれる行為
- 罵声・怒鳴り声、クラクションが聞こえる
- 無言電話や連続した電話、メール等を受けている
- 誹謗中傷ビラが貼付、散布されている など

子供への声掛け等

- 大声をあげたり、防犯ブザーを鳴らしている
- 車に乗せられ（乗り込み）そうになっている
- 見慣れない大人に話しかけられたり、一緒に歩いている など

高齢者虐待

- 身体や着衣が汚れている
- 身体に不自然な傷が多い
- やせ細っている
- 住居が極めて非衛生的で、悪臭がしたりする
- 急におびえたり、怖がったりする など

孤立死

- 新聞受け等に郵便物等が溜まっている
- カーテンが閉めた（開けた）ままになっている
- 室内電灯が点けた（消えた）ままになっている
- 最近見かけない ● 異臭がする など

※ 気づきポイントを参考に、異変に気づいたときは関係機関に通報してください。また、緊急時は、迷わず110番通報をしてください。

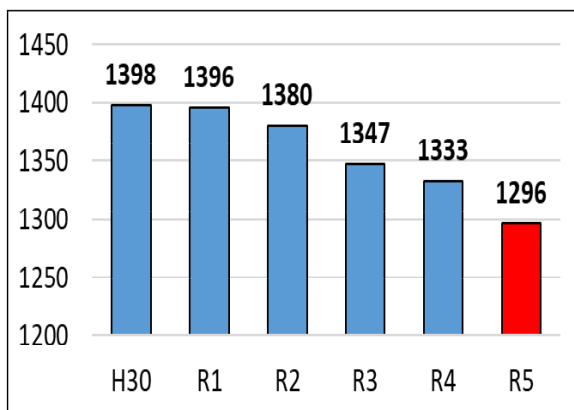
イ 防犯ボランティア活動の活性化

(ア) 既存団体の更なる活動活性化と現役世代の参加促進

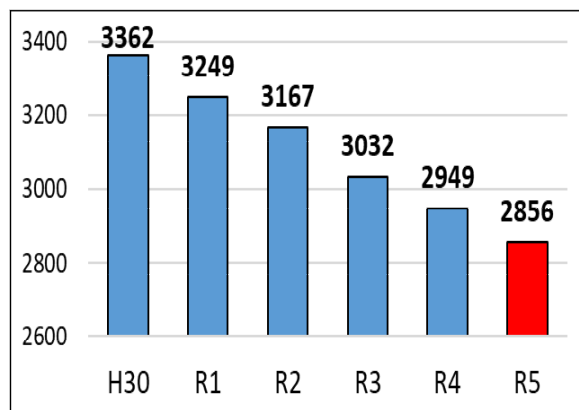
令和5年末における防犯ボランティア団体数と青色回転灯等装備車数は1,296団体、2,856台で、いずれも年々減少しています。

参加者不足や構成員の固定化、高齢化に伴う団体の統廃合等が主な原因となっており、団体が活動を継続、活性化しやすいように環境を整備することや、参加意欲のある現役世代などの新たな担い手の育成を図ることが重要です。

防犯ボランティア団体数の推移



青色回転灯等装備車の台数の推移



※防犯ボランティア団体数は、構成員が5名以上で月1回以上の活動がある団体を集計（R5暫定値）
※団体数、青色回転灯等装備車の台数は道警察の統計による

具体的な取組

- ① 防犯パトロール用品の無償貸与（警察庁事業）
- ② 防犯ボランティア活動に関する事例紹介や情報提供
- ③ 防犯ボランティア活動に対する表彰の実施
- ④ 合同パトロール等を通じたノウハウの伝授



令和5年度 犯罪のない安全で安心な地域づくり賞表彰



警察との合同パトロール

【トピックス1】

■ 防犯ボランティア団体等と連携した「夏の防犯・安全集中対策」を全道展開

新型コロナウイルス感染症が令和5年5月に5類に移行してから、初めての夏を迎え、経済活動の活発化や、多くの観光客の来道等により、例年以上に人流の増加が予想される中、重大な交通事故の多発や、社会経験の少ない青少年が特殊詐欺や闇バイトなどをきっかけとした重大な犯罪に巻き込まれる事案の発生が懸念されました。このため、道、道警察、道教委が3者合同で、市町村や地域の防犯ボランティア団体等とも連携しながら、特に子供達の夏休み期間を中心に、交通安全、特殊詐欺対策、非行防止対策、心のケア等を集中対策分野として、道内各地で防犯・安全活動を展開し、約6,000名（若者約3,500名）に注意喚起や声掛けを実施しました。

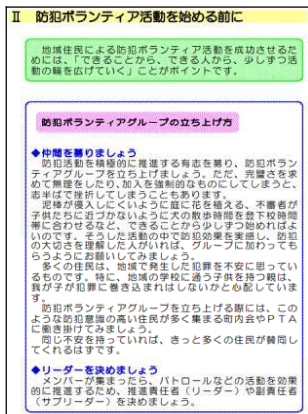


倶楽街一斉パトロール

2023 夏の防犯・安全集中対策パッケージの実施について	
コロナウイルスの5類移行、日中夜間とも好天高温 → 行動制限なし 経済活動の活発化 昼夜の人流増加 社会経験や人との接触機会が少ない若者世代が事件・事故に巻き込まれないよう緊密な取組が必要	
集中対策分野	パッケージ化し集中的に取り組む対策
交通安全対策 (道警、道交、市町村)	○交通死亡事故防止対策期間を設定(8/10~18) 全道一斉ロードサービス実施、全道一斉道庁の交通安全啓発、上記活動と連携したパトロール作戦実施協力呼びかけ ほか ○特殊詐欺、闇バイトに関する危険性の発信を強化 地域イベント会場等でのチラシ配布等法外取組
特殊詐欺対策 (道警、道交、市町村)	○関係機関合同で倶楽街一斉パトロールを日中実施(8/9) すまの街の周辺エリアにおいて個人見守りや盗撮カメラ設置等を実施 ○各自治体において注意喚起、啓発チラシ配布、法外取組等を実施
非行防止対策 (道警、道交、道民、市町村)	○青少年と保護者との相談窓口等の周知、活用呼びかけ(発信力強化) 「子ども相談センター」(道警等)、「少年相談センター」(道警)、「さくらこ」(道)など相談窓口を見直し、活用を呼びかけ
心のケア対策 (道民、道交、道主、他)	
青少年を中心に対策を実施 取組を「見える化」→ 事件・事故の発生防止につなげる	
すべての道民が安全に安心して暮らすことのできる社会の実現をめざす	

■ 防犯ボランティア活動ハンドブックの活用促進

道内の各地域では、多くの防犯ボランティア団体により地域の見守り活動や青色防犯灯装備車によるパトロール活動などが活発に行われている一方で、「活動してみたいが、始め方が分からない」「安全面が心配」「準備が大変ではないか」などといった声も耳にします。推進会議では、自分の地域を安全で安心なまちにしたいという意欲を持った方々に、防犯ボランティア団体の設立や持続した活動の方法などのノウハウを提供するとともに、地域の皆様が安心して安全に暮らすことが出来る環境をつくるため、毎年度、ハンドブックを作成し、道内の自治体やボランティア団体に配布しています。道警察のホームページにも掲載していますので、ダウンロードするなどして、ぜひご活用ください。



【道警察HP】



<ハンドブックの主な内容>

- 防犯ボランティアグループの立ち上げ方、活動内容の決め方など
- 防犯パトロールの方法、着眼点、注意事項など
- 活動が低調になる原因と長続きの秘訣、トラブル防止など

(イ) 学生ボランティアの育成

安全で安心な地域づくりの新たな担い手の育成を図るため、学生を始めとした若い世代のボランティア団体等に対し、大学や企業等と連携しながら必要な支援を行い、防犯ボランティア活動等への参加促進と活動に取り組みやすい環境の整備を図ります。

■北海道・大学生等ボランティアネットワークの結成（平成22年6月）

北海道・大学生等ボランティアネットワークは、平成22年に会員相互の連携・協調のもとに、ボランティア活動を通じて、人や地域、社会の絆を深め、安全で安心して暮らすことのできる地域づくりを進めていくなど、地域社会に貢献することを目的に結成されました。

参加大学（10大学）

- 東海大学
- 北海道大学
- 札幌大学・札幌大学女子短期大学部
- 北翔大学
- 北海道武蔵女子短期大学
- 札幌国際大学
- 小樽商科大学
- 北海道教育大学
- 札幌市立大学
- 育英館

■Jumpers（北海道警察学生ボランティア）の設立（平成30年4月）

次世代を担う学生ボランティアの確保と活動の活性化を図るため、これまで道警が所管していた複数のボランティア組織を統合し、個々に行われていた活動や登録手続等を集約してボランティア活動を支援しています。

活動は、防犯ボランティア、少年警察ボランティア、サイバー防犯ボランティアを行っています。

具体的な取組

- ① Jumpers（北海道警察学生ボランティア）への参加促進
- ② 防犯ボランティア活動等に関する情報の提供と支援
- ③ 各種会議、イベント等における活動発表機会の提供
- ④ 北海道・大学生等ボランティアネットワークへの参加促進



合同啓発



防犯ボランティアリーダー養成講座への参加

ウ 地域安全情報の発信

犯罪のない安全で安心な地域づくりを推進していくためには、行政と道民等が犯罪情勢を正しく認識し、情報を共有して一体となって取り組むことが重要です。

地域安全情報を活用し、地域で発生した事件や不審者情報等を把握し、家族や地域住民で共有することにより、より効果的に防犯対策に取り組むことが可能となります。

防犯ボランティア団体等においても、これらの情報を利用して、地域住民への防犯講話、防犯パトロール経路の選定等に役立てることができます。

具体的な取組

- ① 道の「ホームページ」・「X（旧ツイッター）」、道警の「ホームページ」・「地図情報システム」・「防犯アプリ『ほくとポリス』」・「X（旧ツイッター）」・「Yahoo!防災速報『防犯情報』」・「ほくとくん防犯メール」の活用
- ② 「地域安全ニュース」、「交番・駐在所広報紙」等の発行
- ③ 多様なメディアやネットワークの活用

【北海道の防犯情報】

道では、ホームページや北海道公式X（旧ツイッター）で、子供や女性を対象とした犯罪や特殊詐欺の被害防止、自主防犯意識の醸成に関する情報などを発信しています。

●ホームページ（暮らし安全局道民生活課）

犯罪被害の未然防止や自主防犯意識の醸成に関する情報のほか、安全で安心な地域づくりに向けた各種施策の情報を掲載しています。

また、道が作成した啓発資材も公開していますので、ダウンロードするなどして、ご活用ください。

【道民生活課HP】



【北海道警察の防犯情報】

北海道警察では、スマホアプリやX（旧ツイッター）、電子メールなどで、子供や女性に対する声掛け事案、車上ねらいや特殊詐欺など連続的な発生が予想される事件、凶悪犯人の逃走事案、防犯対策等の情報をタイムリーに発信しています。

●防犯アプリ「ほくとポリス」

地図情報と連動した特殊詐欺や子供・女性を対象する犯罪など社会的関心が高い犯罪の発生状況のほか、被害防止策に関する情報、防犯機能等を提供することにより利用者の自主防犯意識を高め、犯罪被害の未然防止を図ることを目的としています。

【登録方法】～ほくとポリス（無料）

アプリをダウンロードすることで利用できます。

App Store

Google Play



●X（旧ツイッター）

緊急性が高い情報がタイムリーに発信されます。画像や動画付きの情報も得られます。全道の情報を知りたい人に最適です。

【登録方法】～北海道警察公式X（旧Twitter）

自分のアカウントを作成して、「北海道警察防犯情報発信室」を検索し、フォローすると自分のトップページに表示できます。また、「北海道警察ホームページ」のトップページからも閲覧できます。



●Yahoo!防災速報

緊急性が高い情報がタイムリーに発信されます。情報が知りたい地域を3か所まで選択することができ、スマートフォンの位置情報機能を連動させると、現在地の情報も受信することができます。発生場所付近の状況を知りたい人に最適です。

【登録方法】～Yahoo!防災速報

ヤフー株式会社が提供しているスマートフォン用無料アプリ「Yahoo!防災速報」をダウンロードすることで利用できます。



●ほくとくん防犯メール

アドレスを登録いただくことで、警察署ごとの情報を知ることができます。「子供被害情報」、「犯罪発生・防犯対策情報」を発信しており、受信情報を選択することができます。

【登録方法】～ほくとくん防犯メール

「北海道警察ホームページ」TOPページにある「ほくとくん防犯メール」から登録ページにアクセスします。



(2) 道民が不安を感じる犯罪等の被害防止

ア 子供・女性対象犯罪

令和5年中の子供被害犯罪（16歳未満の者の生命または身体を害する犯罪）は422件で、前年に比べ+231件、女性被害犯罪（16歳以上の女性に対する性的犯罪）は201件で、前年に比べ+33件と、それぞれ増加しています。

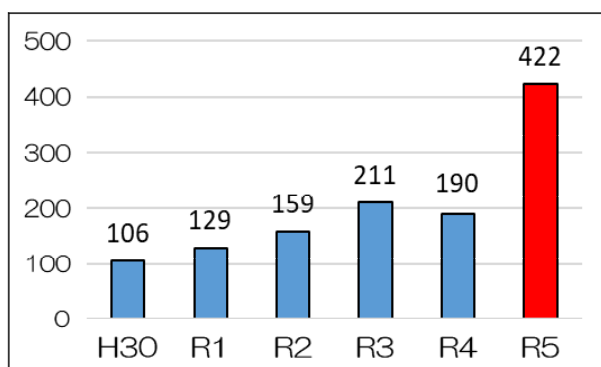
被害を防止するためには、声掛けやつきまとい等の前兆事案の段階から警戒することが大切であり、対処要領を学んだり、実践的な訓練を推進するなど危険予測・回避能力を身につけるとともに、被害に遭った場合には速やかに警察に通報することが重要です。

※令和5年7月の刑法一部改正を受けて、子供の対象年齢を「13歳未満から16歳未満」に、女性を「13歳以上から16歳以上」に、それぞれ被害者の定義を変更しています。

子供・女性対象犯罪の認知件数の推移

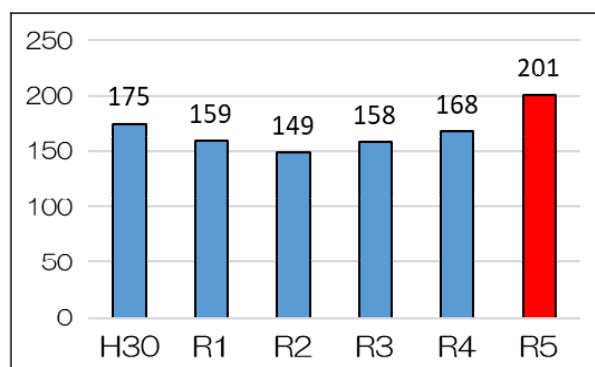
（H30からR5までの各年12月末）※道警察の統計による

【子供被害】



※子供被害犯罪
16歳未満の者に対する殺人、強盗、不同意性交等、暴行・傷害、脅迫、恐喝、不同意わいせつ、略取誘拐・人身売買

【女性被害】

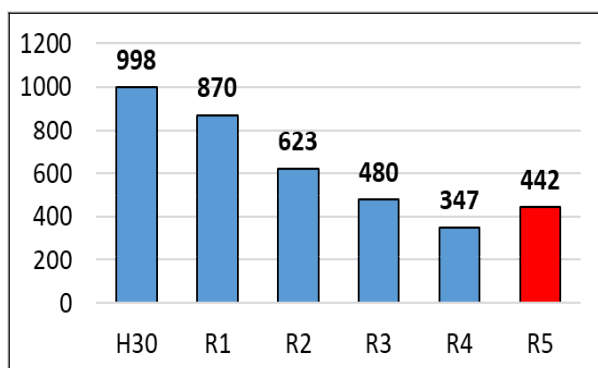


※女性被害犯罪
16歳以上の女性に対する不同意性交等、不同意わいせつ

子供・女性に対する前兆事案の認知件数の推移

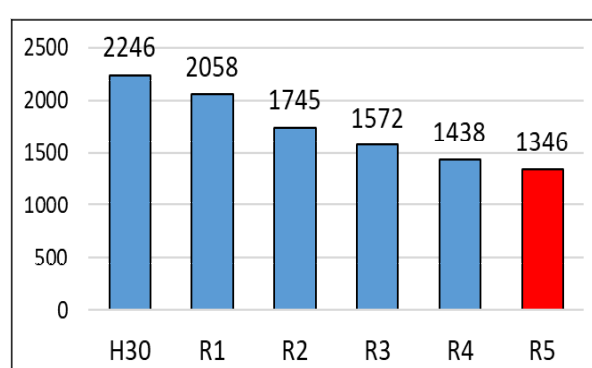
（H30からR5までの各年12月末）※道警察の統計による

【子供対象】



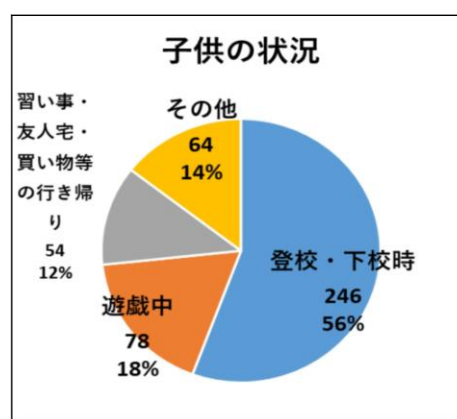
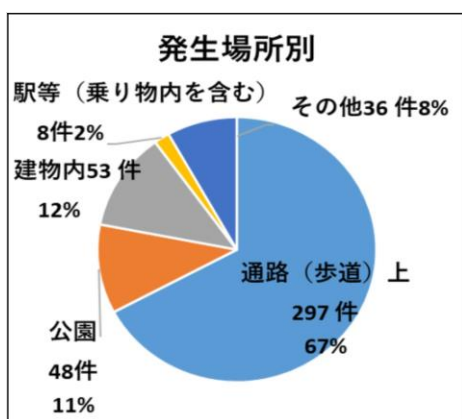
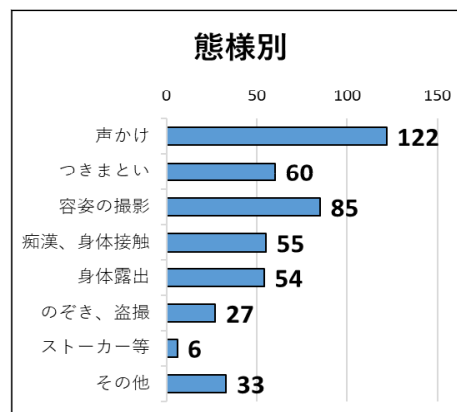
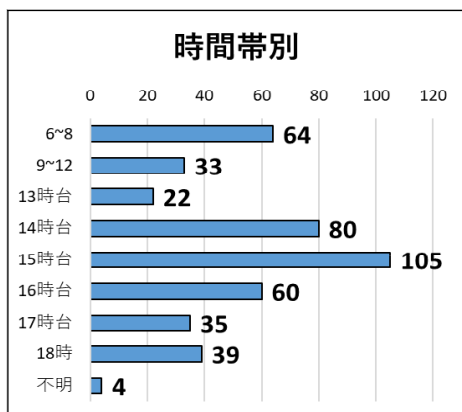
※前兆事案
子供や女性を対象とする性犯罪等の凶悪犯罪の前兆とみられる声掛けやつきまといなどの事案

【女性対象】

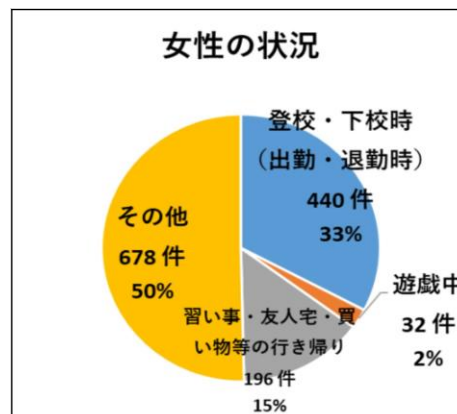
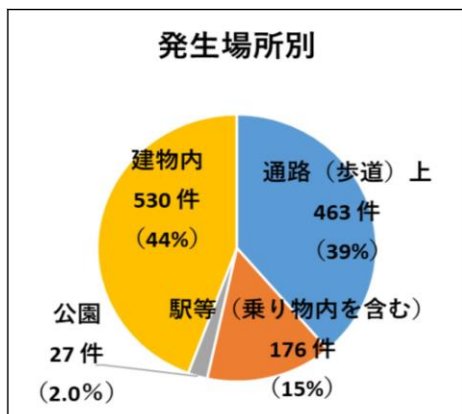
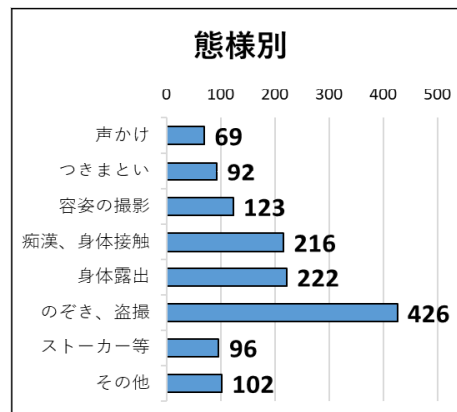
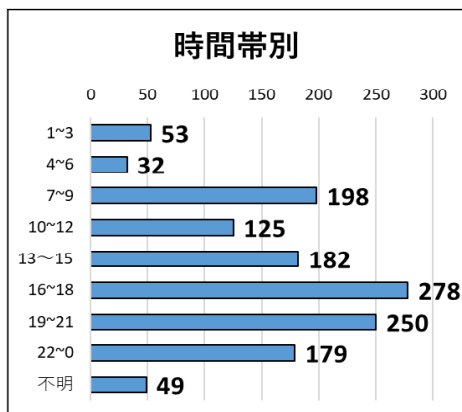


子供・女性に対する前兆事案の傾向（R5） ※道警察の統計による

【子供対象】



【女性対象】



具体的な取組

- ① 危険予測・回避能力を身につけるための安全指導と広報・啓発の実施
- ② 防犯ブザー・防犯ホイッスルの携行や適切な活用に関する広報・啓発の実施
- ③ 性犯罪・性暴力の根絶に向けた社会全体への啓発の実施
- ④ 犯罪・前兆事案の発生状況や被害防止対策に関する情報発信と注意喚起
- ⑤ 関係機関・団体によるパトロール活動等防犯活動の促進
- ⑥ 「子どもの安全を見守る運動」の推進
- ⑦ 登下校時における児童等の安全を確保するための安全管理の徹底

【トピックス2】

■ 性犯罪・性暴力の根絶に向けた社会全体への啓発の実施

痴漢や盗撮などの性犯罪・性暴力は、被害者の尊厳を著しく踏みにじる行為であり、その心身に長期にわたり重大な悪影響を及ぼすものであることから、その根絶に向けて、誰もが、加害者にも、被害者にも、傍観者にもならないよう、社会全体でこの問題に取り組む必要があります。

推進会議では、令和5年3月に国が策定した「痴漢撲滅に向けた政策パッケージ」などを踏まえながら、関係機関・団体と連携し、痴漢対策等のための防犯アプリの普及、駅や商業施設でのポスター掲示等により、相談窓口の周知や社会全体で『痴漢や盗撮は重大な犯罪』、『被害者は一切悪くない』『他人事ではない』などの理解を広げていくための効果的な啓発を実施し、性犯罪・性暴力被害の防止に向けた取組を推進します。

<主な取組>

○交通事業者との協働による痴漢・盗撮撲滅キャンペーンなどの実施



新入学・進学期(R5. 4月)

撲滅キャンペーン(R5. 7月)

大学入学共通テスト前(R6. 1月)

○若者の意見を取り入れた新たな啓発資材の作成・配布

大学生などの意見を踏まえ、札幌市内のイラスト系専門学校にも協力をいただき、啓発ポスターやキーホルダーを作成しました。

引き続き、駅等での掲示や街頭での配布を実施するなど、効果的な取組を推進します。

性犯罪・性暴力被害者への支援について

道では、犯罪被害者等を社会全体で支え、安心して暮らすことができる道民生活の実現に向け、「北海道犯罪被害者等支援基本計画」に沿って、相談対応や情報提供の推進、医療機関における対応体制の整備、医療費の負担軽減に取り組んでいます。



↑キーホルダー

ポスター→



イ オレオレ詐欺等の特殊詐欺

令和5年中の特殊詐欺の認知件数は161件で、前年比-147件、被害額は約5億7,100万円で、前年比-約6億6,900万円とそれぞれ減少しましたが、令和5年下期には、SNSを利用した「金融商品詐欺（投資名目の詐欺）」や「その他の特殊詐欺（副業名目の詐欺）」が増加しました。また、依然として被害者の多くが65歳以上の高齢者の方々です。

被害を防止するため、突然の電話やメールなどでお金のお話が出た場合は、詐欺を疑い、お金を振り込む前に必ず家族や警察（#9110）に相談することが重要です。

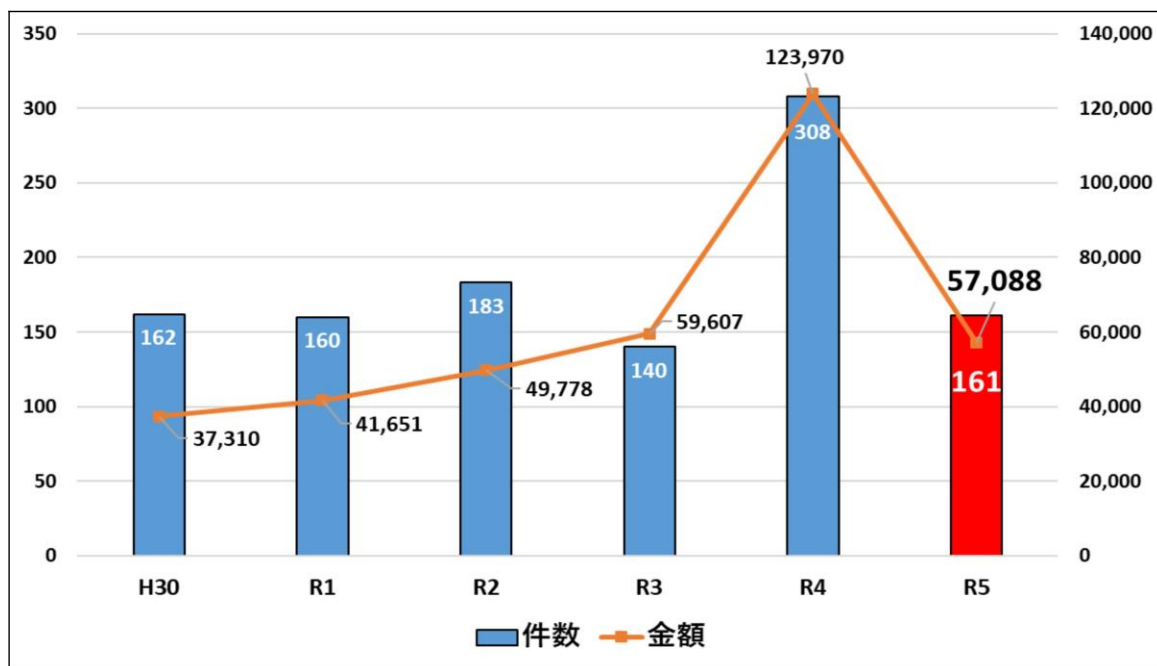
【特殊詐欺とは】 ～ 被害者に電話をかけるなどして対面することなく信頼させ、指定した預貯金口座への振込その他の方法により、不特定多数の人から現金等をだまし取る犯罪の総称です。

【特殊詐欺の手口（令和2年1月1日に特殊詐欺の類型を変更）】

- オレオレ詐欺 ～ 親族、警察官、弁護士等を装って、親族が起こした事件・事故に対する示談金等を名目に金銭等をだまし取る（脅し取る）手口
- 預貯金詐欺 ～ 親族、警察官、銀行協会職員等を装って、あなたの口座が犯罪に利用されており、「キャッシュカードの交換手続きが必要である」などの名目で、キャッシュカード、クレジットカード、預貯金通帳等をだまし取る（脅し取る）手口
- 架空料金請求詐欺 ～ 未払いの料金があるなど架空の事実を口実として、金銭等をだまし取る（脅し取る）手口
- 還付金詐欺 ～ 税金還付等に必要の手続きを装って被害者にATMを操作させ、被害者の口座から犯人の口座へ送金させる手口
- 融資保証金詐欺 ～ 実際には融資しないにもかかわらず、融資を申し込んできた人に対して、保証金等の名目で金銭等をだまし取る（脅し取る）手口
- 金融商品詐欺 ～ 架空または価値の乏しい未公開株、社債等の有価証券、外国通貨、高価な物品等に関する嘘の情報を教えて、購入すれば儲かると信じ込ませて、その購入代金等の名目で金銭等をだまし取る（脅し取る）手口
- ギャンブル詐欺 ～ 不特定多数の人が購入する雑誌に「パチンコ打ち子募集」等と掲載したり、不特定多数の人にこのような内容のメールを送信するなどして、会員登録を申し込んできた被害者に、登録料や情報料の名目で金銭をだまし取る（脅し取る）手口
- 交際あっせん詐欺 ～ 不特定多数の人が購入する雑誌に「女性紹介」等と掲載したり、不特定多数の人にこのような内容のメールを送信するなどして、紹介を求めてきた被害者に、登録料や保証金等の名目で金銭をだまし取る（脅し取る）手口
- その他の特殊詐欺 ～ 上記の類型に該当しない特殊詐欺のことをいいます。
- キャッシュカード詐欺 ～ 警察官や銀行協会、大手百貨店等の職員を装って被害者に電話をかけて、「キャッシュカードが不正に利用されている」等の名目で、キャッシュカードを準備させた上で、隙を見るなどして、キャッシュカード等を盗み取る手口

特殊詐欺の認知件数と被害金額の推移

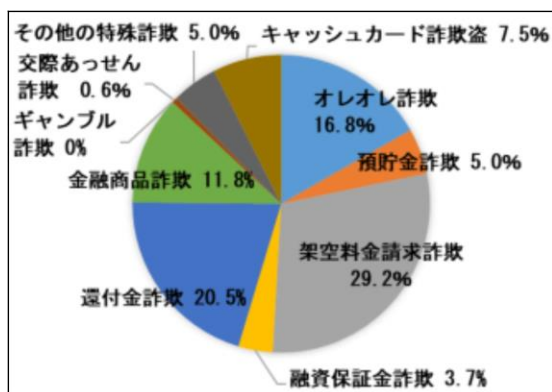
(H30からR5の各年12月末) ※道警察の統計による(R5は暫定値)
 単位：万円



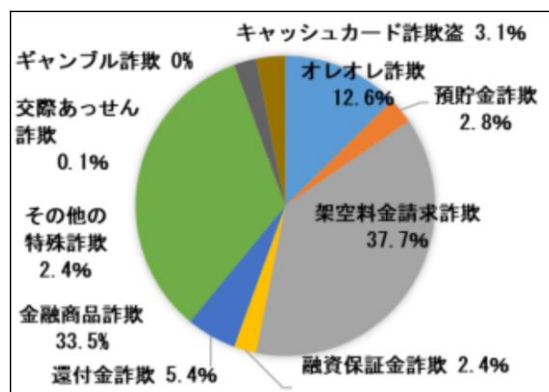
認知件数と被害金額の内訳 (令和5年) ※暫定値 (道警察の統計による)

手口名	件数	金額(円)
オレオレ詐欺	27	72,071,000
預貯金詐欺	8	16,044,168
架空料金請求詐欺	47	215,308,000
融資保証金詐欺	6	13,750,548
還付金詐欺	33	31,028,877
金融商品詐欺	19	191,039,096
ギャンブル詐欺	0	0
交際あっせん詐欺	1	20,000
その他の特殊詐欺	8	13,681,703
キャッシュカード詐欺盗	12	17,943,000

認知件数



被害金額



具体的な取組

- ① 関係機関や事業者等と連携した効果的な取組の推進
- ② 留守番電話機の活用や迷惑電話防止機能を有する機器の導入等の働き掛け
- ③ 高齢者が集う場所などにおける体験型の啓発や、子・孫世代への働き掛けなど、高齢者に届きやすい広報・注意喚起
- ④ ネットワーク等を活用した『はやりの手口』のタイムリーな情報発信・注意喚起
- ⑤ 人・地域・社会の絆を深め、地域コミュニティの力を高める「安全・安心どさんこ運動」と連動させた取組の推進

【トピックス3】

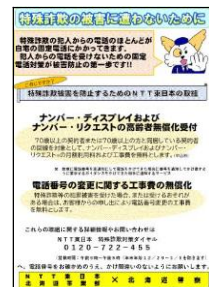
■ 民間事業者等と連携した効果的な注意喚起の実施

金融機関や電話事業者等と連携し、ATMの操作画面での注意喚起や従業員によるATMや宅配引受け時の声掛けの強化に向けた取組、合同での街頭啓発活動などを推進します。



■ 高齢者が集う場所での高齢者に届きやすい広報等の推進

警察の巡回連絡などを通じた声掛け、各種会合や高齢者が集う場所での防犯講話及び詐欺電話体験会などの機会を活用し、『はやりの手口』やNTTによるナンバーディスプレイサービス高齢者無償化等の周知、留守番電話機の活用等の働き掛けを推進します。



■ 被害防止に向けた啓発シール・動画の作成・配布

道内の被害実態(被害者の多くが高齢者、被害発生の多くが固定電話への連絡)や、高齢者の方々の意見も踏まえ、次の2つの啓発資材を作成しましたので、ご活用ください。

民間事業者と高齢者リハビリ施設での放映や警察官の巡回時のシール配布などにより啓発を進めます。

①シール「我に返るめざましーる」

<デザイン>

- 受話器を上げるとシールが立ち上がる
- 「お金の話は電話を切って相談」が目に入り、我に返ることができる



②映像「赤ずきんちゃんからのおねがい！」

<内容> (赤ずきんちゃんが進行役)

- 特殊詐欺の手口と対策、詐欺犯人のリアル音声(22分30秒)
- 被害者インタビュー(4分)
- 栗山英樹氏のダマされ体験(7分30秒)



ウ インターネット利用犯罪

インターネット利用犯罪とは、不正アクセスやウイルス感染による情報流出事件をはじめ、フィッシング詐欺、サポート詐欺、オンラインショッピング詐欺のほか、児童等がSNSを通じて被害に遭う性犯罪等が該当します。

昨年度警察が実施した道民の意識調査では、「不安に感じる犯罪や特に力を入れて取り締まってほしい犯罪」について、半数以上の方が「インターネットを利用した犯罪」と回答していることから、警察による取締りだけではなく、最新のサイバー空間の脅威に関する情報発信と注意喚起など道民への幅広い周知を行い、一人ひとりが被害を予防するための対策を行う必要があります。

具体的な取組

- ① インターネットの安全利用に関する広報・啓発の実施
- ② 最新のサイバー空間の脅威に関する情報発信と注意喚起



学校や企業での講話



街頭啓発



注意喚起パネル

道内のサイバーセキュリティネットワークのご紹介

- H A I S L (ハイスル)
北海道地域情報セキュリティ連絡会の通称で産業界、学術機関、官公庁等の各業界と情報共有を図り、互いに協力して道内におけるサイバーセキュリティの意識向上に向けた取組を推進。
- 北海道中小企業サイバーセキュリティ支援ネットワーク
道内の中小企業に対し、サイバーセキュリティの意識醸成に資する情報提供を行い、サイバー空間において安心・安全に事業活動を行うよう支援を行うために設立されたネットワーク。

(参考)

- サイバーセキュリティひろば (道警察サイバーセキュリティ対策本部)
北海道警察では、「サイバーセキュリティひろば」のホームページで、最新の防犯情報や取組紹介のほか、サイバーセキュリティ講話の申し込みも受け付けております。(※右の二次元コードから入れます。)



工 犯罪実行者募集情報（闇バイト情報）対策

近年、若者を中心としてSNSなどを通じて闇バイトに安易に応募し、特殊詐欺や強盗等の重大な犯罪に加担してしまうことが全国的に社会問題となっており、令和5年中、道警察では、X（旧ツイッター）上で犯罪実行者を募集する投稿に対し、884件警告しています。

<警告対象>

特殊詐欺のほか、殺人、強盗、窃盗、傷害、暴行等SNSで実行犯を募集する手口による犯罪の犯行を助長するおそれのある投稿

特殊詐欺等による被害の防止はもとより、こうした犯罪に若者等を加担させないためには、令和5年3月に国が策定した「SNSで実行犯を募集する手口による強盗や特殊詐欺事案に関する緊急対策プラン」などを踏まえながら、関係機関・団体が一体となって実効ある対策を講じていくことが重要です。

具体的な取組

- ① 幅広い年齢層を対象とした多様なメディアによる闇バイトの危険性の注意喚起
- ② 若者に届きやすい機会を活用した広報・啓発の推進
- ③ 関係機関や事業者等と連携した効果的な取組の推進

【トピックス4】

■ 若者等をアルバイト感覚で犯罪に加担させないための対策

推進会議では、闇バイト対策を喫緊の課題と捉え、地域の出先機関を含め北海道、北海道警察及び北海道教育委員会と連携した取組を進めています。

道などで、著名人や学識経験者、高等学校などに御協力をいただき、注意喚起動画や放送教材などの啓発資材を作成しましたので、広報啓発の場でご活用ください。

また、家族や知人が困っているのを見聞きされた際は躊躇することなく、警察相談電話「#9110」や少年相談110番（0120-677-110）に連絡をお願いします。

<主な啓発資材>

○動画「闇バイトは犯罪です」



2023WBC侍ジャパン栗山監督より、若者へのメッセージをいただきました。

↓動画はこちら
(北海道警察
YouTube)



○動画「闇バイトを広めないための対策」



東北大学荒井准教授より、募集の事例、勧誘の罠、心理学の視点からの抑止策についてご講演いただきました。

↓動画はこちら
(北海道環境生活部
くらし安全局YouTube)



○放送教材(4本) ※校内・庁内で放送

- ①闇バイトの危険性
- ②闇バイトの実態
- ③闇バイトに巻き込まれないために
- ④特殊詐欺被害に遭わないために



高校生と警察官が闇バイトの手口などを語り、若者に危険性などを注意喚起しました。

※詳しくは道教育庁生徒指導・学校安全課にお問い合わせください。